



奥出雲

3

No.252



ネイル体験会

横田高校生による地域の方を対象とした「ネイル体験会」が開催されました。

これは「総合的な探求の時間」の授業の一環で、将来美容系の進路を目指す生徒たちが企画・運営したものです。施術前後で気持ちにどのような変化があるのか、また性別や年齢による感じ方の違いを調査することを目的に実施されました。

参加者からは「気分が明るくなった」との声も聞かれ、世代を越えた交流の場となりました。

今月号の主な内容

- 令和8年度町長施政方針 2
- 「世界農業遺産認定記念式典」に参加しました 6
- もうすぐピカピカの1年生 8
- 未来を動かす一歩 おくいずも未来会議プレゼン会を開催 10
- 町立奥出雲病院附属横田診療所 開設のお知らせ 13
- 町立奥出雲病院コーナー 14

令和8年度 町長 施政方針

令和8年度奥出雲町議会定例会の
施政方針演説の内容を一部抜粋し
て掲載します。

予算の概要

令和8年度当初予算において
は、私が掲げております「総力
戦のまちづくり」ところ、

●子育て・教育の充実と奥出
雲を担う人づくり

●活力ある産業の振興

●安心して暮らせる生活基盤
の確保とまちづくり

●奥出雲の暮らしが幸せだと
実感できる生活環境づくり

この4つのまちづくりを目標
とした施策の推進を、引き続き
図ってまいります。これにより
一般会計は153億6千万円、
対前年度比4億2千万円、2.
7%の減となっております。

令和8年度当初予算主要事業

「子育て・教育の充実と
奥出雲を担う人づくり」

◆子育て支援

新たに幼保連携型認定こども園「よ
こたこども園」を開設いたしますが、
開園当初からの円滑な運営を支援する
ため「認定こども園開設事業」を実施
してまいります。

また、統合により新設される仁多小
学校の校舎内と現在の旧三成幼稚園園
舎に、「こた放課後児童クラブ」を設
置いたします。令和7年度から開設し
ております「よこた放課後児童クラブ」
とともに、仁多・横田それぞれの地域
において、児童の健全育成に取り組み
ます。

◆こども家庭センター事業

妊産婦、乳幼児等への支援を包括的
に実施するため、こども家庭センター
を設置しております。相談業務と併せ、
妊産婦健康診査交通費助成や産後ケア
事業などを実施しております。

令和8年度からは、センター事業を
拡充し、一人5万円を助成する妊婦出
産費用助成事業を実施いたします。

◆予防接種事業

小児期の予防接種につきまして、本
町では、県内初となる母子手帳アプリ
「母子モ」を活用した予約票と接種記
録のデジタル化を開始し、保護者や医
療機関の負担軽減を図っています。
令和8年度からは、予防接種法の改
正により、RS(アールエス)ウイルス
母子免疫ワクチンが定期接種の該当と
なりますので、妊婦を対象とした定期
接種を実施し、その接種費用を全額助
成いたします。

◆小学校統合後の取り組み

本年4月から仁多小学校児童の多く
がバス通学となることを踏まえ、バス
乗車連絡アプリを導入します。保護者
と学校との連絡など利便性を確保する
ことで、保護者の安心、教職員の負担
軽減に資するものと考えております。
また、令和8年度に横田小学校・横田
中学校区において、「ミニユニースク
ール(学校運営協議会)を設置いたしま
す。

義務教育9年間に加え、今後は横田
高校の3年間を見通した「目指す子ど
も像」や「学校・地域のビジョン」を
学校と地域が共有し、子どもたちの学
びと育ちを地域全体で支える学校づく
り、地域づくりを体的に進めてまいり
ます。併せて、地域学校協働本部を設
置し、学習支援、体験活動、キャリア
教育など、地域の特色を生かした取り
組みを展開してまいります。

◆教育振興

更新時期を迎えております学校タブ
レット端末を更新し、小学校統合に向
け整備しました電子黒板の活用と併
せ、最新のGIGAスワールの積極的
な推進を図ってまいります。

令和8年度からは、スクールサポー
トスタッフを全ての学校に配置するほ
か、引き続き特別支援員、学びのサポ
ーターの厚い配置により、先生方が子
ども達に向き合える時間を増やし、教
育の質を向上させるとともに教職員の
働き方改革も推進してまいります。

また、「家庭学習支援塾」を新たに
開設し、中学校の放課後の時間を活用
して、生徒が主体的に学ぶことのでき
る学習環境を整え家庭学習の習慣化に

つなげてまいります。

◆学校教育環境の整備

仁多中学校、横田中学校の屋内運動
場の空調整備工事を、令和8年度から
実施し、生徒が快適な学びが出来るよ
う教育環境の向上を図ります。

◆学校給食

学校給食につきましては、小学校に
ついては、新たな国の給食費負担軽減
交付金で不足する額の保護者負担は求
めず町が補填することとし完全無償化
を実施いたします。

中学校におきましても、食材費等の
高騰により実質的には給食費が値上げ
となりますが、差額を町が補填し現在
の提供単価を維持してまいります。

◆おくいずも未来会議

2月15日には、「2026奥出雲の未
来をつくる。私の挑戦・提案プレゼン」
を開催し、奥出雲の新しい未来に向か
うて「自ら挑戦したいこと」「町へ提案
したいこと」について発表をいただき
ました。また、昨年度に発表された挑
戦・提案につきましても、その後フラッ
シユアップを行い、挑戦1件、提案2
件を事業化・実現することができまし
た。

町といたしましては、これらの提案
内容を関係各課で共有し、可能なもの
については施策に反映していくことも
に、新メンバーの募集も行い、次代を
担う人材、そしてまちの核となる人材
の育成につなげてまいります。

◆定住施策

「人と人のつながり」「町(まち)と
人のつながり」をコンセプトに、令和
8年度より新たに「絆コネクト事業」
の実施や「地域活性化起業人制度」の
活用により、奥出雲町へ帰って来たい、

移住し定住したいと考えている皆様との
つながりを深める取り組みを促進
し、「UターンやJターン」による移住・定
住の取り組みを進めてまいります。

◆住宅施策

子育て世代をはじめとする若い方々
が、安心して暮らせる住環境の整備を
進めるため、三成地内において世帯向
けの定住賃貸住宅の整備に着手してお
りますが、令和8年度は造成工事及び
設計業務を進めてまいります。併せて、
既存住宅の空き家対策のため、新規事
業として住宅利活用検討事業を実施い
たします。

「活力ある産業の振興」

◆農業振興

令和7年度よりスタートした「中山
間地域等直接支払交付金」第6期対策
は120協定が、新設されました「ス
マート農業加算」については38集落協
定が取り組んでいただいております。
今後も、加算の交付金を活用し、中山
間地域での活用に適したスマート農業
技術の前向きな取り組みが一層進むよ
う情報収集や農家への情報提供を進め
てまいります。

人口の減少や高齢化による担い手不
足が深刻さを増し、全国的な課題となっ
ています。担い手を確保するために
引き続き、認定農業者の育成、集落営
農組織の法人化を推進していくほか、
就農希望者に対して、関係機関と連携
しながら、就農者へのサポートや支援
を引き続き取り組んでまいります。

併せて、地域おこし協力隊でも
特に農の担い手となる人材の育成・確
保を図ってまいります。

◆有害鳥獣対策

有害鳥獣捕獲対策事業に取り組み、

捕獲器導入補助や町民の狩猟免許取得
に要する経費の一部を助成してまいりま
す。また、令和8年度は奥出雲町農業
公社において、職員の狩猟免許の取得
や専門的な知識・技術の習得を図り、
被害防止対策の一翼を担うこととして
おります。

◆農業基盤整備

地域内の農地の集積・集約を加速さ
せ、担い手の育成・確保を図り魅力あ
る農地を維持するため、農地耕作条件
改善事業による圃場整備を実施してお
りますが、令和8年度は新規地区とし
て大谷地区を加え、継続地区を含めて
5地区で実施してまいります。

また、防災上のリスクとなる使われ
なくなった農業用ため池の廃止事業を
継続して実施していくほか、貯水量の
多いため池の改修等、防災・減災対策
について引き続き県営事業の導入によ
り進めてまいります。

◆畜産振興

奥出雲和牛の更なるブランド化に向
けて、本町におきましては、引き続き、
肉用牛優良繁殖素牛の保留及び導入対
策を積極的に進め、繁殖基盤の強化を
図るとともに、令和9年度に北海道で
開催される第13回全国和牛能力共進会
に向け、種牛性向上対策などに取り組
んでまいります。

また、畜産農家の経営を圧迫してい
る粗飼料価格高騰対策のため、国営開
発農地を活用した粗飼料供給体制の確
立により、少しでも安価な粗飼料が供
給できるよう、引き続き農業公社と
もに取り組んでまいります。

◆森林由来のJ-クレジットの発行

昨年12月に認証頂きましたJ-クレ

ジットにつきましては、去る2月6日に
東京に本社を置く三機工業株式会社様
と連携協定を締結し、二酸化炭素量換
算で年間2,000tの8年契約を結ぶ
ことができました。

令和8年度もこの販売を進め、売払
い収益を森林整備はもとより周辺環境
の保全事業、また、木育推進などに活
用してまいります。

◆林業振興

町内産木材の利用を促すため、令和
7年度から町産材利用促進事業の要件
を緩和しており、更に利用促進を図っ
てまいります。

横田地域の幼児園統合に併せた認定
こども園の開園に伴い空き施設となる
八川幼児園は、豊かな子育て環境や幼
児教育を提供するため、町内外の子ど
もや大人が木に親しみ理解を深めてい
ただける「木育施設」として改修し、
雨の日でも雪の日でも安心して過ごせ
る場所を提供してまいります。

◆山林地籍調査事業

令和8年度の調査事業は、継続6地
区、新規1地区を計画しております。
このうち現地での境界確認を行う一
筆地調査を2地区、新しい地籍調査手
法である航空レーザ計測データを利用
したリモートセンシング方式による一
筆地調査を1地区予定しておりますので、
地調査を1地区予定しておりますので、
地権者の皆様のご協力をお願いいたし
ます。

◆農業遺産ブランド振興

世界農業遺産認定を契機として、仁
多米につきましましては、関東方面への販
路拡大を図るなどさらなる有利販売に
取り組んでまいります。仁多米が全国
の産地間競争に勝ち抜くため、安定し
た生産の確保と高品質化などによる更
なるブランド化を軸とし消費者ニーズ
に対応した米生産となるよう、スマー

ト農業技術による省力化、気候変動に
対応した米づくり、鳥獣被害対策など
も併せて進めてまいります。

また、これまでそれぞれで振興策を
進めておりました地域ブランド振興に
資する委託事業を「農業遺産ブランド
振興事業」に、在来そばやエゴマなど
の特産振興については「農業遺産特産
作物振興事業」に、農業遺産を活用し
た都市農村交流事業と新規就農者の育
成を「農業遺産活用・都市農村交流事
業」にそれぞれ統合し、引き続き農産
物の生産振興を図るとともに、新たな
特産作物の検討や実証、担い手確保・
育成などに取り組んでまいります。

◆個人版ふるさと納税及び企業版
ふるさと納税

個人版ふるさと納税につきましては、
返礼品の魅力向上や情報発信に継続し
て取り組んだ結果、令和7年度の寄附
額は約7億2千万円となる見込みであ
り、高い水準を維持することができま
した。

今後も奥出雲産品のPRを通じて、
地場産業の振興と寄附者との継続的な
関係構築に努めてまいります。

また、企業版ふるさと納税につきま
しては、7社の企業より2,790万円
のご支援をいただき、過去最高の寄附
額となりました。

令和8年度においても、関係機関と
連携し本町のまちづくりにご理解いた
だく企業を募り、地域課題の解決に向
けた安定的な財源確保に取り組みでま
いります。

◆商工業振興

町内の小規模事業者の事業継続支援
として、引き続き国・県の各種助成制
度などを活用し、新規事業や世界農業
遺産を活用した販路拡大等に取り組む
事業者の支援を行ってまいります。

食料品等の物価高騰対策として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム付商品券発行事業に取り組み、切れ目なく物価高騰に対する町民生活と町内消費の下支えに努めてまいります。

◆雇用対策・人材確保

昨年6月に立ち上げました「雇用対策協議会」を中心に、官民一体となって企業の魅力向上や人材のマッチングを通じて、町内の人材確保を進めてまいります。

また、医療介護、建設土木分野の人材確保も継続してまいります。

◆観光振興

日本遺産「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」つきましては、昨年7月に認定更新に選定いただいたところであり、「世界農業遺産」とともに、新たなツアーの造成を進めてまいります。

妻乃上荘改修につきましては、調査業務の結果を踏まえ、次のステップに進んでまいります。

「安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり」

◆道路新設改良事業

1級町道高尾線をはじめとする8路線で道路線形の改良や拡幅を行い、道路の安全性・利便性の向上に努めます。

また、道路防災・老朽化対策、落石等の災害防除対策について、道路構造物等の点検を実施し、危険度・緊急度の高い箇所から修繕を進め道路の安全性確保に努めてまいります。

県事業につきましては、継続事業の早期完成を働きかけるとともに、新規事業の導入や安全な地域づくりのため、土砂災害防止対策や浚渫等による

河川の環境整備を進めていただくよう引き続き関係団体に要望をしてまいります。

◆上下水道事業

老朽水道管の更新工事を継続して阿井地区、馬木地区において実施をいたします。今後順次施設の更新・整備を進めてまいります。

水道料金につきましては、令和8年4月使用分から改定することとなりますので、利用者の方への周知を図るとともに経営の健全化に努めてまいります。

なお、令和8年12月使用分までは、国の重点支援交付金を活用し、基本料金の値上げ部分を支援し負担軽減をしてまいります。

また、下水道事業につきましては、令和8年度は、合併処理浄化槽5基の設置を計画しているほか、公共下水道と農業集落排水4施設の統合事業を継続して実施いたします。

◆消防防災

昨年は、町内での火災が14件発生し、一昨年の6件を大きく上回る発生となりました。幸いにも、人命に関わる火災は無かったところですが、引き続き火を取り扱う季節でもありますのでご注意くださいと考えます。

令和8年度消防施設の整備として、耐震性貯水槽整備を計画的に実施してまいります。

◆公共施設の適正管理

公共施設の適正化を推進するため、公共施設の除却事業を進めてまいります。

令和8年度は、老朽化が進んでおります阿井国際交流センター、高田コミセン、旧阿井幼稚園舎、鳥上、横田、八川集畜場の解体、除却を実施いたします。

◆空き校舎活用

本年4月に布勢・亀高・阿井・三沢小学校が仁多小学校へ統合され、4校が空き校舎となります。布勢小学校は公民館を含む地域拠点施設の整備を予定しており、令和8年度に解体設計へ着手する予定です。

三沢小学校は令和8年度からデイサービス施設への改修を開始し、2階は多世代交流施設として整備します。

亀高小学校と阿井小学校は、公民館やコミュニティセンターとしての活用について地域の皆様と連携しながら、具体的な活用方法を検討してまいります。

旧高尾・旧鳥上・旧馬木小学校についても、各地区と意見交換を行いながら今後のあり方について協議を進めてまいります。

◆老健跡地への複合施設の整備

これまで立地適正化計画の策定にあたり三成地区の老健跡地の活用につきましては、多くのご意見をいただいておりますが、令和8年度に検討を本格化し、複合施設の計画が定まった後に旧老健の取り壊しに入りたいと考えております。

◆公共交通施策

奥出雲交通につきましては、本年4月から仁多小学校が開校することから大型バスを購入し、ダイヤ改正や車両の増便・増車を行い、児童・生徒が安心して通学できる体制を確保してまいります。

デマンド交通につきましては、昨年4月から三沢・三成地区の一部について実証運行から本格運行に移行いたしました。高尾地区は、来月4月から本格運行に移行いたします。

令和8年度は、さらに布勢地区および亀高地区へのエリア拡大を予定しております。地域の皆様の声を丁寧にお伺いし

ながら、交通事業者と連携し実証運行に向けた協議を進めてまいります。

◆空き家対策

令和6年度から各地区での空き家相談会を開催させていただきました。窓口への相談も多くなってきたところであり、今後は、住まなくなった空き家を良い状態のうちに活用いただく利活用と、老朽空き家の除却と、除却に伴う環境整備を総合的に対応するため、令和8年度は新たに「おくいずも住まい再生事業」を実施し住まいの確保と住みたくなるまちとしての魅力づくりを進めてまいります。

◆環境衛生

次期一般廃棄物処理施設整備につきましては、資金・資材の高騰傾向に伴い施設整備費用の増加及び各市町の財政に与える影響の拡大が懸念され、施設整備に係るあり方の再検討作業が進められており、施設整備費の再算定や外部委託した場合の経費試算などが行われ、適宜、情報の共有を受けております。

令和8年度においては、整理された基礎資料に基づき、雲南1市2町による協議を行い、雲南圏域として喫緊の課題であり、最善なゴミ処理のあり方の方向性を見出したいと考えております。

◆環境政策

また、ゴミの減量化を図る取り組みとして、令和8年度は新規事業としてSDGs推進済み削減機器導入支援事業により、生ごみ処理機の購入に対し定額助成を実施してまいります。

◆環境政策

脱炭素社会の実現に向けては、国の重点対策加速化事業を活用し、各家庭での再生可能エネルギー設備の導入支援や省エネに係る空調機器の導入支援に取り組んでまいります。

令和8年度からは、既存住宅の断熱改修が事業対象に加わりますので、再生エネ設備導入の際のリフォームなどで検討いただきたいと思います。

また、新規事業といたしまして、オンサイトPPAによる公共施設への再生可能エネルギー設備の設置とソーラーシェアリング、小学校周辺のバス停付近の融雪設備の設置について調査を実施してまいります。

「奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり」

◆奥出雲病院の取り組み

医療・介護・在宅診療が一体となった切れ目のない支援体制を強化するとともに、専門職による出前講座や健診事業を通じて健康寿命の延伸と予防医療を推進し、地域住民の皆様と共に歩む病院づくりを進めてまいります。

引き続き、効率的な経営と質の高い医療人材の育成に注力し、地域医療の中核としての役割を果たしながら、将来にわたって安定した医療を提供できるように、経営基盤の維持・強化に努めてまいります。

◆奥出雲病院附属横田診療所

永生クリニックの藤原院長より、令和8年3月末をもって閉院するとの意向が示され、町では関係の皆様と協議、相談を重ねた結果、横田地域の医療提供体制を守るため、同場所に「町立奥出雲病院附属横田診療所」を開設することを決定し、令和8年4月7日より診療を開始する予定としております。

診療体制は、奥出雲病院の医師1名体制を基本とし、看護師や事務職員を配置いたします。また診療については、月曜日から金曜日の「予約制」とし、病院とのシステム連携により、迅速な検査対応を可能にする仕組みを計画し

ております。

◆介護福祉施策

「補聴器購入費助成事業」は、中等度難聴の高齢者を対象とし本年1月末時点で24名の方に申請をいただいておりますが、補聴器があることにより会話がスムーズに行え、大変ご好評をいただいております。

こうした聞こえに関する困り事の早期改善により、高齢者の積極的な社会参加促進と認知機能低下予防を図ってまいります。

◆高齢者福祉

高齢者等みまもりネットワーク事業につきましては、本年4月から委託先の社会福祉協議会へ事務所を移転することで、利用者へ電話を掛けるだけでなく必要時には訪問やご家族と連絡を取るなどこれまで以上に個々の利用者に合わせてサービスとしていく予定であります。

◆障がい者福祉施策

令和8年4月から旧三沢幼稚園において放課後等デイサービス事業が仁多福祉会により開始される見込みとなり、障がいのあるお子さんやそのご家族が、専門的な療育や相談支援を受けられる体制の充実が図られることとなります。

令和8年度には「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」の策定を予定しております。

◆スポーツ・文化振興

町民の皆様が様々な分野で活躍できるように支援を継続するとともに、健康で心豊かな日々が過ごせるよう、スポーツ推進員による軽スポーツの普及や子ども達の体力向上プログラムなどスポーツ振興に取り組んでまいります。

文化振興につきましては、73団体が加盟する奥出雲町文化協会において、

引き続き芸術文化祭や芸能音楽祭の開催など文化の薫り高い町づくりを推進してまいります。

文化財保護につきましては、歴史的価値の保存と魅力の向上に努めてまいります。

◆公園施設整備

公園整備事業について、2030年国スポ開催に向けた三成公園サッカー場の人工芝張替えなどの改修整備を実施します。

また、横田高校サッカー場の改修整備に備え、工事期間の練習会場の確保のために県補助事業を活用し横田公園野球場をサッカー練習拠点施設として整備いたします。

全ての行政分野で推進すること

◆幼児教育施設を活用した関係人口の創出

令和8年度より幼児教育施設を活用し、都市部の子育て世帯が一定期間、町内の施設を利用しながら、自然豊かな環境の中で子育てを体験できるプログラムを実施してまいります。

こうした体験を通じて、子どもたちがのびのびと成長できる環境を提供するとともに、保護者の皆さまにも本町の暮らしやすさや地域の温かさを実感していただき、将来的な移住・定住につなげていきたいと考えております。

◆税制改正に伴う地方税の手続きのデジタル化

令和9年から固定資産税と軽自動車税で、希望する納税者に、納税通知書等の電子的送付が運用開始されます。

また、インターネットを利用して地方税の手続きを電子的に行うシステムである「e-TAX（エルタックス）」の更新により、国税と地方税の連携項目

総括

財政状況は仁多小学校の新設等による大規模事業もあり、非常に厳しい状況ではありますが、知恵を絞って、財源を確保し、財政健全化を図りながら少ない財源に魂を込めて、今後も「奥出雲町を強く、豊かに」、町民の皆様が将来に向かって、今を、毎日を、誇りと希望を持って生きられるように、「奥出雲創生」総力戦のまちづくりを使命と情熱をもって推進してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「世界農業遺産認定記念式典」に参加しました



▲認定式典に参加した奥出雲地域の皆さん

2月5日、世界農業遺産認定記念式典が農林水産省(東京)において開催され、奥出雲町農業遺産推進協議会から18名が出席し、会場に約100名が集まりました。世界農業遺産の認定地域は日本国内で17地域、昨年10月に国連食糧農業機関(FAO)本部で日本から新たに4地域に認定証が授与され、この度、政府主催の認定記念式典が開催されました。

山下農林水産副大臣から「認定は新たなスタート、地域の価値を見直し共有することにより豊かなものへと発展させる礎となる」とあいさつがありました。

また、FAOのマウリツィオ・マルティナー事務局長から「世界農業遺産プログラ



▲挨拶をする糸原町長

その後、各認定地域代表者から挨拶があり、奥出雲町農業遺産推進協議会会長の糸原町長は、たたら製鉄を起源とする奥出雲の資源循環型の農林畜産システムについて紹介し、「仁多米、奥出雲和牛、特用林産物をはじめとする農と食、文化的景観や観光資源を結び付けるとともに、認定を活かした取組、新たな魅力づくり、地域づくりにつなげてまいりたい」と述べました。

今回、世界農業遺産認定の喜びを共有し、各認定地域の特徴や取組について理解を深めることができ、世界に認められた農業遺産を自信や誇りにして、今後の取組やこれからの展望を考える貴重な機会となりました。

その後、各認定地域代表者から挨拶があり、奥出雲町農業遺産推進協議会会長の糸原町長は、たたら製鉄を起源とする奥出雲の資源循環型の農林畜産システムについて紹介し、「仁多米、奥出雲和牛、特用林産物をはじめとする農と食、文化的景観や観光資源を結び付けるとともに、認定を活かした取組、新たな魅力づくり、地域づくりにつなげてまいりたい」と述べました。



▲奥出雲町の特産品をPRする特設ブースの様子

農業を未来につなげる座談会

「奥出雲の農業の「これから」を語り合う」を開催

2月20日、雲州そば伝産産業会館で「農業を未来につなげる座談会〜奥出雲の農業の『これから』を語り合う〜」を開催しました。

この座談会は、燃料や資材価格の高騰、人口減少など、農業を取り巻く環境が大きく変化する中で、これからの「奥出雲の農業」について共に考えることを目的として実施したものです。当日は、町内外から農業者や農業に関心のある方など約30名が参加されました。

前半では、環境に配慮した農業の普及に取り組む株式会社坂ノ途中から、これからの農業を考える上でのヒントの紹介がありました。後半は、田部農園の田部義美さん、インターンで米作りに取り組みされている石田航太郎さんによるクロストーク、参加者によるグループワークを行いました。グループワークでは、参加者それぞれの立場から奥出雲町の未来の農業について活発な意見交換が行われ、農作業の苦勞や喜び、工夫を共有する貴重な機会となりました。



石田 航太郎さんによる取り組み紹介の様子▲

▼株式会社坂ノ途中 小松 光さん



▲田部農園 田部義美さん



西の横綱「仁多米」のPR大使に 島根県出身の ロシアン佐藤さんが就任!



全国で「西の横綱」として高い評価を受けるブランド米「仁多米」のさらなる認知度向上と魅力発信を目的に、出雲市出身の料理系大食いユーチューバー・ロシアン佐藤さんが「奥出雲仁多米PR大使」に就任しました。

3月4日、奥出雲町役場仁多庁舎で任命式が行われ、タスキや名刺、仁多米1俵の授与に続き、就任記念の特製仁多米おにぎりを味わいながら糸原町長と奥出雲町商工会青年部八澤豊幸部長とのトークセッションを実施。仁多米の魅力や生産者への思い、今後の活動への抱負などが語られました。ロシアン佐藤さんは「大好きな仁多米をたくさんの方に食べていただけるように情報を届けて、奥出雲に来て仁多米を楽しんでもらえるように、どんどん魅力を発信していきます」と力強くコメントされました。



J-クレジットを活用したカーボンニュートラル等に関する連携協定 締結



▲三機工業株式会社 石田博一 代表取締役社長(左)、株式会社パイワイル 下村雄一郎 代表取締役(右)

奥出雲町と三機工業株式会社、株式会社パイワイルとの間で、「J-クレジットを活用したカーボンニュートラル等に関する連携協定」を締結し、締結式が2月6日に役場仁多庁舎で行われました。

町では、令和5年6月の脱炭素宣言を契機に、森林由来のJ-クレジットの発行に取り組みはじめ、国の認証審査を経て、令和8年1月からクレジットの販売を開始しました。

この協定は、町が管理する森林から創出されたクレジットを、パイワイルを通じて三機工業に販売し、8年間で1万6千トンを購入いただき、その収益により町内の林業振興や環境保全を図り、脱炭素の取り組みを推進することを目的としています。

また、クレジットの購入とは別に、三機工業独自のエコ貢献ポイント制度を活用した町内の森林整備への助成や、社員による環境保全活動等に取り組んでいたことになりました。今回の連携協定により、一層林業振興に取り組む、環境保全を図ることにより脱炭素社会の実現を目指していきます。

三成
幼稚園

亀嵩
幼稚園

横田地域
幼稚園
横田
八川・馬木

阿井
幼稚園

布勢
幼稚園

4月からいよいよ小学1年生。
町内の幼稚園で入学式を
心待ちにしている
元気な子どもたちを紹介します。

もうすぐ
ピカピカの
1年生

おいずも未来会議 プレゼン会を開催

2月15日(日)、役場仁多庁舎において「2026奥出雲の未来をつくる。私の挑戦。提案プレゼン会」を開催しました。

おいずも未来会議は、「新しい未来をつくる」二次世代にバトンをつなぐを合言葉に、若い世代と行政がともにまちの課題を考える場として令和5年にスタートしました。本年度はテーマ別意見交換会や資料作成会を重ね、7名のメンバーが町長や来場者に向けて、自らの挑戦や町への提案を発表しました。

当日は、草刈りの担い手づくりや親子の居場所づくり、企業合宿の誘致、消防団アプリの開発など、多彩なアイデアが発表され、奥出雲の未来への熱い思いが語られました。提案については、各課で事業化の可能性を検討し、挑戦については実現に向けて町が支援します。



**おいずも未来会議
新加入メンバー大募集中!!**
奥出雲町の理想の未来に向かって、新たな挑戦や提案をしたい方、また、挑戦する人々を応援したい方を募集しています！
お申込みは、QRコードからお願いします。



地域づくりアクション発表会R8

【特別なことじゃない。奥出雲の「日常」が今おもしろい】

2月23日(月)祝、カルチャープラザ仁多において、地域づくりアクション発表会R8を開催しました。

各地区の取組発表に加え、若手2名からは「おいずもるっく」や「馬木夜市」など、主体的な活動について発表いただきました。講演では、公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団代表理事の宝楽陸寛氏より、地域づくりは特別なものではなく、「日常」の積み重ねであるとお話をいただきました。パネルディスカッションでは、宝楽氏が地域で活躍する皆さんの本音を引き出し、会場とともに地域づくりのヒントを共有しました。



特別なことじゃない
奥出雲の「日常」が
今おもしろい

奥出雲町の「今」を確認することで、今後の地域づくりのレベルアップにつながる有意義な時間となりました。宝楽陸寛氏がアクション発表会の内容をnote記事にまとめていただいています。ぜひご覧ください。



▲宝楽陸寛氏によるnote記事

健康福祉課からのお知らせ

B型肝炎訴訟に 関するお知らせ

◆B型肝炎訴訟とは

幼少期に受けた集団予防接種等の際に、注射器が連続使用されたことによりB型肝炎ウイルスに持続感染したとされる方々が、国に対して損害賠償を求めている集団訴訟です。

◆給付対象者

- ・ B型肝炎ウイルスに持続感染している方
- ・ 満7歳になるまでに集団予防接種を受けた方

・ 昭和23年7月1日から昭和63年1月27日の間に、集団予防接種を受けた方

- ・ 集団予防接種以外の感染原因（母子感染・輸血等）がない方

※給付金対象者から母子（父子）感染している方や、給付金対象者の相続人も対象となります。

◆給付金等の請求期限

令和9年3月31日まで

※但し、資料の収集等があるため、早めに相談・準備・手続きをしてください。

詳細は厚生労働省ホームページ（「厚生労働省 B型肝炎訴訟」で検索）をご覧ください。相談窓口03-33595-2252にご連絡ください。

～出張年金相談窓口の開設日について～

松江年金事務所では町民の皆様の利便性を図るため、島根社会保険労務士会の協力により、年金相談を実施しています。来年度の相談日は次のとおりです。



会場：奥出雲町役場仁多庁舎・横田庁舎

2026年度カレンダー		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仁多	17 (金)	8 (金)	5 (金)	3 (金)	14 (金)	4 (金)	2 (金)	6 (金)	4 (金)	15 (金)	5 (金)	5 (金)	
横田	24 (金)	22 (金)	19 (金)	17 (金)	21 (金)	18 (金)	16 (金)	20 (金)	18 (金)	22 (金)	19 (金)	19 (金)	
予約相談開始時間		10:00～14:45 (終了予定15:30)											

年金相談は予約制です。ご予約は仁多・横田ともに「前日（前営業日）」までにお申し込みます。ご予約の際は年金手帳など基礎年金番号がわかるものをご準備ください。

予約なしで来場されたお客様は相談をお受けできない場合がございますのでご注意ください。また、予約時間を10分以上経過しても来られない場合は他のお客様の相談を行う場合がございます。

【ご予約・お問い合わせ】

松江年金事務所 電話:0852-23-9540

音声案内が流れますので「1」の後に「2」を押してください。
「奥出雲町(仁多・横田)での出張相談の予約」とお伝えください。



町立奥出雲病院よりお知らせ



町立奥出雲病院附属横田診療所 開設のお知らせ

長年にわたり地域医療を支えてこられた「永生クリニック」が閉業することに伴い、その役割を引き継ぐ形で、4月7日(火)より新たに「町立奥出雲病院附属横田診療所」を開設します。

これまで地域医療を支えてこられた藤原院長ならびにスタッフの皆様の尽力に深い敬意を表するとともに、その尊い志を継承し、地域医療の維持・発展に努めます。

新診療所では、町立奥出雲病院との連携をさらに強化・充実し、迅速な入院対応や専門外来とのスムーズな接続を図り、地域住民の皆さまへより手厚い医療体制を構築してまいります。運営体制は新しくなりますが、引き続き地域の皆さまにとっての「身近な相談窓口」として、安心できる医療の提供を目指してまいります。

■奥出雲病院との連携によるメリット■

奥出雲病院附属診療所となることで、精密検査の予約や入院が必要な際の連携がよりスムーズになります。また、これまでの診療データも適切に管理・継承し、切れ目のない医療を提供いたします。

- 診療開始日：令和8年4月7日(火) 予定
- 場 所：奥出雲町横田1063番地1
- 診療科目：総合診療科、内科、精神科
- 診療時間：基本 〔午前〕8：40～12：00 〔午後〕13：30～16：00

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	-	●	●	● (第1-3-5週)9:00~	●
	午後	-	● 15:00~	●	-	● (第1-2-3-4週)15:30~ (第5週)13:30~
内科	午前	●	-	● (第2-4週)9:00~	-	-
	午後	● (第1-2-3-5週)	-	-	-	-
精神科	午前	-	-	-	-	● 9:00~
	午後	-	-	-	-	-

※患者様の病状により、他院への診療をおすすめする場合があります。
 ※予約制にて診療を承ります。開院後しばらくは、予約がかなり取りづらくなることが予想されますのでご容赦下さい。

【お問い合わせ】 町立奥出雲病院 電話：54-1122(代)

期間限定

空き家バンクに 登録しませんか？



空き家の適正な管理と活用を促進するため、良質な物件を空き家バンクに登録された場合に**最大5万円**を交付する「空き家バンク登録促進補助金」を創設しました。
 奥出雲町の空き家バンクには、多くのお問い合わせをいただいておりますが、中には空き家になってから年数が経過し、状態が悪化したために空き家バンクへの登録に至らない物件もあります。一方で、空き家バンクに登録された物件を探している方は年々増加しています。

そこで、物件の状態が良いうちに、ご相談いただけるよう、**3年間の期間限定**で良質な空き家の登録を支援します。
 この機会にぜひ、空き家バンクへの登録をご検討ください。

〈補助金の額〉

最大5万円(固定資産税額に相当する額)

〈交付の対象となる方〉

- ・令和7年10月1日以降に空き家バンクに登録した空き家の所有者
- ・次のいずれにも該当する空き家の所有者
 - ア 建物の延べ床面積がおおむね160㎡以下であること。
 - イ 建築基準法における新耐震基準で建てられていること。
 - ウ 排水設備が下水道に接続していること。
 - エ 適切に管理されており、設備が良好であること。
- ・継続して2年以上空き家バンクに登録できる方

〈お問い合わせ〉

定住産業課 電話：54-2524

詳しくはこちら



農業委員会からのお知らせ

相続登記の申請が義務化されています

「相続登記がなされていない」などの理由から、所有者が不明な農地が増えています。所有者不明農地が増えると適切な管理がされず、周辺の環境が悪化する等の問題が起こります。このような状況の発生を予防する観点から、不動産登記法が改正され、令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されました。

- 相続で取得したことを知った日から3年以内に相続登記が必要です。
- 義務化前に発生した相続についても、令和9年3月31日までに相続登記をしなければなりません。
- 正当な理由なく申請を怠った場合、過料の適用対象となります。



相続登記の手続きなど詳しくは法務省ホームページをご覧ください。



不動産を相続したら
かならず相続登記！

★相続登記未登記の土地を、農地中間管理事業で貸し借りする場合は・・・

登記名義人の法定相続人を調査して相続人の方の同意をいただきますので、手続きに時間がかかります。



農業委員会事務局 電話：52-2680 有線：20-4000 (内線4333)



災害支援ナースをご存知ですか？



先日、島根県東部でも震度5を超える大きな地震がありました。不安を抱かれた方も多いのではないのでしょうか。

災害支援ナースとは、大規模な災害が発生した際や、新型コロナウイルスなどの感染症が蔓延した際に活動する看護の専門家のことです。災害が起きると、通常の医療機能が維持できないなどさまざまな問題が起こります。そんな時に、現地へ出向き病院などの現場を支える役割を担っています。奥出雲病院には4名の『災害支援ナース』が在籍し、専門的な研修を受けています。



■災害支援ナースの強み

災害のみではなくコロナなどの新興感染症蔓延時には避難所・他医療機関に派遣され必要な看護、医療ケア、生活支援を提供させていただきます。いつ起きるか分からない災害に備え、日頃から臨機応変に対応できる知識・技術を身に付けられるよう自己研鑽に努めております。

■もし島根県、奥出雲で災害が起きたら・・・

いつ私たちの住んでる地域で災害が起きるか予測できません。災害時にはまずご自身と大切な方の命を守る行動を最優先にして下さい。また、災害時には不安や緊張で体調を崩しやすくなります。奥出雲病院にも災害看護に対し専門的訓練を受けた看護師や、医療知識を豊富に備えたスタッフがたくさんいます。ぜひ、私たち奥出雲病院のスタッフに頼って頂けたらと思います。

SNSも発信中！

病院的雰囲気や取り組みについて
Instagramにて発信しています。ぜひご覧ください！



病院 公式SNS



町立奥出雲病院附属

『横田診療所』 所長よりご挨拶



横田診療所 所長
おか まさと し
岡 正登詩

- ・出身:出雲市(広島大学を卒業)
- ・専門科:総合診療科
- ・専門医:家庭医療専門医
- ・趣味:読書



地域の皆さま、いつもありがとうございます。これから横田の皆さまと温かいお付き合いをさせていただきたいと思っております。

前任の藤原先生は、非常に幅広い分野で、手厚い診療を続けてこられました。その素晴らしい診療をしっかりと引き継ぎ、まずはこれまでの日常的な診療を変わずに続けていくことが私の第一の務めだと考えております。

皆さまへの負担を最小限に抑えつつ、「地域全体での連携」を強化し、長くこの場所で診療を続けていけるよう努めてまいります。どうぞ、これからよろしくお願ひ申し上げます。

『家庭医』は何が違うの？



家庭医療専門医(家庭医)は、従来の臓器別に分かれた医療ではなく、皆さんの心・身体・家族・生活全体を見て、今一番必要な医療を提供する専門医です。

【だれでも】

赤ちゃんからお年寄りまで、
家族みんなを診る先生です。



【なんでも】

風邪やケガ、心の悩み、予防接種まで、
まず相談できる「医療の入り口」です。



【ずっと】

病気の時だけでなく、
普段の健康や生活の背景まで
「まるごと」長く寄り添います。



【つなぐ】

必要に応じて、適切な専門医や
介護・福祉のサービスへ
スムーズにつなぎます。



「奥出雲町の買い物環境に関するアンケート調査」の結果概要について



農林水産省農林水産政策研究所
奥出雲町役場政策企画課

アンケート調査について

奥出雲町では全ての住民が日常生活において、安心して食料品を調達できる環境の維持・確保に向けて、農林水産省農林水産政策研究所と包括連携協定を締結しました。その一環として、奥出雲町の住民のみなさまがどのような買い物環境に直面しているのかアンケート調査(2024年12月から2025年1月にかけて実施)に基づき把握を試みました。調査にご協力頂き、誠にありがとうございました。調査の結果概要についてお知らせいたします。



奥出雲町でみなさんは「どこで」買い物をしているのか？

アンケート調査では約3,400戸に調査票を配布し、1,201戸から回答を頂きました。その中で、日常生活における食料品と日用品の買い物先について、頻繁に利用する店舗を1番目から3番目まで具体的に回答してもらいました。その集計結果(表1)をみると、上位5店舗は町内に立地しており、住民のみなさまが**町内店舗での買い物**を通して日常生活を送っている事が分かります。また、2・3番目に利用する店舗ではドラッグストアの利用割合が高まっており、みなさまが**購入品目に応じて利用店舗を使い分けている**実態も明らかとなりました。

(表1) n = 700

店舗名	業態	立地	1番目	2番目	3番目
1. 横田蔵市	スーパーマーケット	奥出雲町下横田	25.9	23.7	11.3
2. 仁多ショッピングセンターサンクス	スーパーマーケット	奥出雲町三成	24.4	10.4	7.3
3. Aコープよこた店	スーパーマーケット	奥出雲町横田	15.7	11.9	10.9
4. ウエルネス横田店	ドラッグストア	奥出雲町下横田	11.3	22.4	16.0
5. 阿井食品センター下阿井店	スーパーマーケット	奥出雲町下阿井	4.1	2.0	1.1
6. スーパーセンタートライアル雲南店	ショッピングセンター	雲南市加茂町	3.6	0.3	0.3
7. グッデイ木次店	スーパーマーケット	雲南市木次町	2.1	1.7	0.0
8. ドラッグストアコスモス大東店	ドラッグストア	雲南市大東町	1.3	0.3	0.3
9. ファミリーマート奥出雲横田店	コンビニエンスストア	奥出雲町下横田	1.1	1.0	2.6
10. Aコープだいとう店	スーパーマーケット	雲南市大東町	0.9	1.1	0.6

今後求められる対策について

奥出雲町では、多くの方々が町内で買い物をしている状況が把握された一方で、**将来の買い物環境に不安**を感じているとの意見も数多く寄せられていました。また、ほとんどの方が**買い物環境は奥出雲町に住み続けるうえで重要な要素**であると認識していました。

現状、住民の多くが町内店舗を利用している状況ではありますが。今後も買い物環境を維持していくうえでは、住民一人一人が地域のサポーターであるという認識のもと、**町内店舗を積極的に利用し、買い支えていく意識が大変重要**になります。



国保加入・喪失の手続き

忘れていませんか？

令和6年12月2日に現行の健康保険証は、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行されましたが、マイナ保険証を持っていても、国保に加入するときや、やめるときは、**必ず14日以内に届け出をしましょう。**

※自動的には変わりませんので、必ず手続きが必要です。

また、他の保険加入後に国保喪失手続きをしないまま医療機関にかかる、国保で負担した費用を全額返還していただくことになり、**ますのでご注意ください。**

お問い合わせ
健康福祉課係
電話：5412511
有線：3115000 (内線5123)



ecology

タレントと広がるアップサイクルの取組み

アップサイクル(Upcycle)とは、廃棄予定の製品や端材にデザインやアイデアといった「付加価値」を加え、より高品質で新たな価値を持つ製品へと再生する取組みです。近年、タレントや著名人によるアップサイクルの実践や発信が広がっています。

■**ブランドを通じた取組み**
タレントののんさんは、自身の衣装をリメイクした一点物商品を販売。また、ギタリストのCharさんがライブで着用した衣装をギタリストラップやトートバッグなどへアップサイクルした商品をコラボ展開。松山ケンイチさんと小雪さん夫妻のブランドでは、有害鳥獣駆除の副産物として廃棄されがちな鹿・猪・熊の皮を活用し、帽子や手帳カバーなどに利用しています。

■**企業とのコラボレーション**
田中律子さんは、廃棄されるバナナの茎から生まれた素材「BANANA CLOTH」を使用した商品を監修。藤本美貴さんは、100円ショップ「フツ」に協働し、環境配慮素材を使った商品の企画に携わっています。

■**ファッション業界の取組み**
環境負荷が大きいとされるファッション業界においても、マリエさん、森星さん、加藤ジーナさんらが、サステナブルなライフスタイルをSNS・メディアを通じて発信し、環境問題への関心を広げています。アップサイクル商品は高価格帯となりますが、タレントの発信を通じて、持続可能な社会への考え方や姿勢に触れる機会が広がっています。なお、規格外野菜や形崩れした食品を加工品にして販売することもアップサイクルの一例です。そう考えると身近なところでも取組みは広がっています。



横田高校

横田高校、文化系も頑張っています！

2月9日(月)～3月1日(日)に、横田高校昇降口のコンスパースにて、校内美術展を開催しました。12月に県立美術館で開催された「島根県高校美術展」に出品した美術部の作品や、美術の授業で1・2・3年生が制作した作品など、合計約100点を展示しました。美術部は、50号の油絵作品のほか、今夏に秋田県で開催される「全国高校総合文化祭」への出品が決まっている立体作品「測り知れぬオロチの心」などを展示しました。ヤマタノオロチを表現したこの立体作品は、廃材のプラスチック定規を大量に用いた共同制作によるものです。

また、授業作品では「感謝のお弁当」というテーマで、日々お弁当を作ってきた保護者の方に対して生徒の感謝の気持ちを表現した黒板アートを展示しました。卒業式当日まで展示を行い、保護者の皆様にもご覧いただく機会を設けました。

また3月20日(金)には横田コミュニティセンターにて、吹奏楽部の定期演奏会の開催を予定しています。昨年、中国大会で金賞を受賞した吹奏楽部は、その後も日々研鑽を重ねており、今年度の集大成となる演奏会です。横高吹奏楽部の音色が地域の方の心に届くよう、当日は最高の演奏ができるようベストを尽くしたいと思います。



4月の 行事予定



★★古紙回収★★ (問)環境政策課54-2513

八川	八川コミセン 三井野原ふれあいセンター	4日 (土)
馬木 布勢	馬木コミセン 布勢コミセン	11日 (土)
阿井	家畜集合施設 下阿井運動広場	
三沢	三沢公民館	18日 (土)
横田	横田コミセン横 役場横田庁舎裏	
鳥上	鳥上コミセン	25日 (土)
三成	役場仁多庁舎玄関横 下高尾旧消防格納庫	
亀嵩	亀嵩基幹集落センター 鳥谷木材店車庫	

★★幼児健診★★

(問)健康福祉課54-2781

4・5か月児健診	23日(木)	令和7年11月・12月生	13:20~13:35	奥出雲健康センター
7・8か月児健診		令和7年8月・9月生		
10・11か月児健診		令和7年5月・6月生		
1歳6か月児健診	9日(木)	令和6年8月・9月生	13:00~13:15	

★★健康に関する相談★★

こころの健康相談日	13日(月)	14:00~15:00 (予約制)	役場仁多庁舎	(問)健康福祉課 54-2781
歯と口の健康相談室 健康・栄養相談日	24日(金)	10:00~12:00 (予約制)	役場仁多庁舎	
アルコールによる困りごと相談	20日(月)	13:00~15:00 (予約制)	雲南保健所	(問)雲南保健所 42-9642
難病、治療、生活などに関する相談	月~金	8:30~16:30	しまね難病相談 支援センター	(問)しまね難病相談支援センター 0853-24-8510
難病患者の就労に関する相談	8日(水)	13:30~15:30 (前日までに要予約制)		

★★結婚・子育てに関する相談★★

結婚相談所「はぴこ」	12日(日)	10:00~15:00	サイクリングターミナル 2階研修室	(問)奥出雲はぴこ会 090-2860-2082(渡部)
	15日(水)	16:00~19:00		

★★その他の相談★★

出張年金相談	17日(金)	10:00~15:30 (予約制)	役場仁多庁舎	(予約先) 松江年金事務所 0852-23-9540
	24日(金)		役場横田庁舎	
移動ナースバンク (就業相談会)	8日(水)	13:00~16:00	ハローワーク雲南	(問)ハローワーク雲南 42-0751

口座振替のお知らせ

税金・使用料など公共料金の
3月分の口座振替は
3月31日(火)です。

今回の振替は次の通りです。

- 国民健康保険税(9期)
- 後期高齢者医療保険料
- 情報通信使用料
- 水道使用料
- 下水道使用料
- 住宅使用料
- 住宅駐車場使用料
- 住宅共益費
- 老人ホーム入所費用等徴収金
- 介護サービス利用料

*納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料金(公共・農業合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出をして下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

運転免許証 自主返納支援事業 について

奥出雲町では、運転免許証を自主返納された**65歳以上の方**に、次のいずれか1つ、支援を選んでいただいています。

- ◆ バス、タクシーや宅配サービスに利用できる生活交通サポート券5万円分
(使用期限：令和9年3月31日)
- ◆ シニアカーの購入助成上限5万円
- ◆ 奥出雲町商工会商品券1万円分

※この支援は、自主返納後に申請が必要となります。

お問い合わせ
福祉事務所生活支援係
電話：54-2541
有線：3115000
(内線5375)



令和8年度 奥出雲はぴこ会 結婚相談サロン開設日

しまね縁結びサポートセンターに登録し、縁結び活動を行っている縁結びボランティア「島根はっぴいこーでいねーたー」通称「はぴこ」による結婚相談を下記の日程で開催します。

月	日	場所	時間
4	12(日)	サイクリングターミナル2階研修室	10:00~15:00
	15(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
5	10(日)	横田コミセン青年室	10:00~15:00
	13(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
6	14(日)	サイクリングターミナル2階研修室	10:00~15:00
	17(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
7	12(日)	横田コミセン青年室	10:00~15:00
	15(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
8	9(日)	サイクリングターミナル2階研修室	10:00~15:00
	12(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
9	13(日)	横田コミセン青年室	10:00~15:00
	16(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
10	11(日)	サイクリングターミナル2階研修室	10:00~15:00
	14(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
11	8(日)	横田コミセン青年室	10:00~15:00
	11(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
12	13(日)	サイクリングターミナル2階研修室	10:00~15:00
	16(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
1	10(日)	横田コミセン青年室	10:00~15:00
	13(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
2	14(日)	サイクリングターミナル2階研修室	10:00~15:00
	17(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00
3	14(日)	横田コミセン青年室	10:00~15:00
	17(水)	サイクリングターミナル2階研修室	16:00~19:00

【お問い合わせ】 奥出雲はぴこ会代表 渡部 (携帯：090-2860-2082)
※令和8年度より相談場所を変更しています

みんなの掲示板

くらし・しごと／悩み事出張相談会
In雲南 くまずは相談を！
生活に関する悩みや仕事に関する不安や悩みごとの相談を受けて、決にむけた適切なアドバイスや、必要な窓口を紹介します。

◆日時 4月7日(火)10時~16時
◆場所 中国労金雲南支店3階会議室(雲南市木次町木次46816)
※会場は駐車場がありません。

◆相談料 無料
◆お問い合わせ くらしサポートセンター 鳥根
松江市御手船場町55717 ろうかん別館
☎0120-1969-1234
(平日10時~12時/13時~16時(除土日祝日))

有害鳥獣の捕獲・駆除実績

奥出雲町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいています。令和8年1月の捕獲・駆除頭数実績は次のとおりです。

地域	ニホンジカ	イノシシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	4	15	1	42	0	0
横田地域	1	2	1	0	0	0
合計	5	17	2	42	0	0

※その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。
有害鳥獣による農作物被害があった場合は、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 農業振興課 農業生産・鳥獣係
電話：52-2679
有線：20-4000 (内線4338)



- 今月のピックアップ -

『叫び』

早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学び始める。ここではかつて畷粟栽培と阿片製造が盛んで、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。いつしか昭和と令和はつながり、封印されていた声が溢れ出す。大阪と大陸で響き合う夢とロマン、恋愛政治小説。

第174回芥川賞受賞作。

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「神都の証人」 大門剛明著	「世界はきみが思うより」 寺地はるな著	「強迫症とうまくつきあう」 原井宏明著	「排泄介護」のお悩み解消ブック」 西村かおる著	「やさしいさんぽつや」 くすのきしげのり作	「ばばあちゃんのマフラー」 さとうわきこ文・絵	「食べる」 藤原辰史文
4月の休室日 月曜日、祝日、 月末休室(30日)						

横田「ミセン」センター図書室

「カフエーの帰り道」 嶋津輝著	「うらざり長屋」 高瀬乃一著	「普段使いにちょうどいい 手編みのこもの」 ブティック社編	「人を助ける英語1000」 和久健司著	「おやすみなさいフランス」 ラッセル・ホーバンぶん	「ダムのみみつ図鑑」 スタジオタッククリエイティブ編	「ポプラディアプラス日本の歴史」 ポプラ社編
4月の休室日 日曜日、祝日						



出雲國 たたら風土記

～鉄づくり千年が生んだ物語～

日本遺産とは平成27年から始まった日本各地の文化や風習・文化財などを「ストーリー」として文化庁が認定したものです。認定された「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」語る上で欠かせない文化財として、今回は【田部家土蔵群と吉田の街並み】を紹介します。

田部家土蔵群は、吉田のまちの中心部に位置する田部家の白壁土蔵群です。現在ではあまり見られなくなった、なまこ壁の重厚な土蔵が並びます。

田部家は、たたら製鉄の経営者である“鉄師”の一人で、まちの周辺に鉄の生産拠点を複数所有し、できた鉄を割鉄（包丁鉄）に加工する大鍛冶の拠点を自宅のそばに設けて、生産から加工までを一体的に経営していました。

周辺には、田部家のたたら吹きでできた鉤から作られた鉄製品を扱う「鐵泉堂」や、鉄の歴史を学べる「鉄の歴史博物館」、一棟貸しの宿泊施設「RITA 雲南吉田」などがあり、まち歩きも楽しめます。



